

女性現実研究所 資料『女性現実物語』

本部セクター (センター)

性に関するご相談などを希望される女性の皆様へ



まるで物語のような女性の現実に寄せて

初版：2004年3月16日

最終更新：2019年9月14日

～ 著者 ～

◆女性現実研究所 代表スタッフ (代表ウォッチャー、男女)

～ 編者 (女性からのご相談、ご投稿、情報提供の受付および本著の編集) ～

◆女性現実研究所 幹部女性スタッフ (幹部女性ウォッチャー) 一同

～ ご協力者 (代表および幹部女性スタッフ一同より厚く御礼申し上げます) ～

◆女性現実研究所 一般女性スタッフ (一般女性ウォッチャー) の皆様

(社会人女性スタッフ、主婦スタッフ、女子大学生スタッフ、女子高校生スタッフ)

◆女性現実研究所にご相談、ご投稿、情報提供して下さった全ての女性の皆様

(本著では、女性ご本人から公表のご希望やご許可を頂いた事例のみを取り上げておりますが、全ての女性にメール返信や面談などの個別対応を行っております。)

目次

1. 女現研への性に関するご相談、ご投稿、情報提供について
 - (1) 性に関するご相談、ご投稿、情報提供とは
 - (2) 女現研（スタッフ）への連絡先、メールなど
 - (ア) メールアドレス
 - (イ) スタッフへのお手紙・ファンレターの宛先
 - (ウ) 性被害物などの送り先
(ビデオ、映像、写真、画像、下着、私服、制服、水着、その他の物品)
 - (エ) 性被害物や関連の調査・通告依頼物品、信書のご送付に関する注意
(ヤマト運輸のクロネコメール便の廃止と宅急便の拡充に伴うご送付方法の確認について)
 - (3) ご相談女性の皆様の個人情報の扱い（非公表、厳重保管）と、
スタッフの氏名および職業リストの提示
2. ご相談、ご投稿、情報提供の方法と、女性の皆様の位置づけ
 - (1) ご相談、ご投稿、情報提供の方法、およびスタッフへの登用・応募方法
 - (2) 最近特に多くご相談、ご投稿、情報をお寄せ下さる女性のタイプ
 - (ア) 世界保健機関（WHO）の ICD、米国精神医学会（APA）の DSM などに
定義されている精神・身体症状や特殊知覚を抱えているタイプ
 - (イ) 性被害タイプ
 - (a) 性暴力・レイプの被害に遭った女性（加害者が男性である場合）
 - (b) 性暴力の被害に遭った女性（加害者が女性・同性愛の女性である場合）
 - (c) 援助交際・売春やアダルトビデオ（動画）・雑誌（画像）などへの出演の
強要の被害に遭った女性
 - (d) 現在の社会通念上・法概念上は異常・違法と見なされる性行為への参加の
強要の被害に遭った女性
 - (e) 職場や大学のサークルでの恥辱行為の強要の被害に遭った女性
 - (f) 性行為の目視・手伝いの強要の被害に遭った女性
 - (g) セクハラ・パワハラ・マタハラ（マタニティ・ハラスメント）の被害に遭った
女性
 - (ウ) 性依存・性的倒錯タイプ
ニンフォマニア（女子色情症・Nymphomania）、
パラフィリア（性的倒錯・Paraphilia）、
マスターベーション依存、オーガズム依存、セックス依存、性玩具依存、
女性間性行為依存、レズビアン、ミソジニー、ミサンドリー、
アダルトビデオ依存、性玩具依存、SM 行為依存、スカトロロジー依存、

野外露出依存、AV 出演・援助交際・売春依存、被レイプ願望、対物性愛など

(エ) 性症状タイプ

性器神経症、むずむず性器症候群 (ReGS・RGS)、
持続性性喚起症候群 (PSAS・PGAD)、陰核過敏症 (クリトリス痙攣)、
 Vulvodynia)、ワギニズムス (膣痙・膣痙攣・Vaginismus)、
クリトロディニア (Clitorodinia)、肛門過敏症 (肛門痙攣)、
乳頭・乳輪・乳房 (副乳頭・副乳輪・副乳房) 過敏、
汚言症・猥褻語多用癖・猥語性愛 (コプロラリア・Coprolalia)、
異食症 (ピカ・ピサ・Pica) など

(オ) 性ボランティアの女性

手足の不自由な男性・女性の性行動のお手伝いを無償で自主的に行う場合

(3) スタッフの組織構成

3. ご相談女性の皆様へのお願い 1 (女現研の執筆・編集中の資料のご確認)
4. ご相談女性の皆様へのお願い 2 (女現研本部への意見)
5. ご相談女性の皆様へのお願い 3 (女現研の分類との整合性の確認)
6. ご相談女性の皆様へのお願い 4 (女現研の提供・保管資料のご確認)
 - (1) ウェブサイト上でのご確認・ご利用
 - (2) 一部の女子寮・女子シェアハウス、女子大学・高校・中学校など
女性施設・女子校における保管資料のスタッフとのご確認
 - (3) ご自身の性に関するご相談、ご投稿、提供情報の収録の要望
7. ご相談女性の皆様へのお願い 5 (代表スタッフまたは幹部女性スタッフへの情報提供)
 - (1) ご相談、ご投稿、提供情報の内容のご確認
 - (2) 性被害、性依存、性症状などの調査研究へのご協力
 - (3) 自治体、保健所、児童相談所、警察、学校などへの通報へのご協力
 - (4) 女子大学、女子高校、女子中学校、女子寮、女性温泉・スパ施設などへの潜入調査
へのご協力
(代表からの全権委任事項)
 - (5) 思想・宗教・ユートピア団体への潜入調査へのご協力
 - (6) 職場、地域社会、町内会などにおける性被害などの調査研究へのご協力
 - (7) 男女共学校における教員、親 (PTA)、生徒、友人の性的言動の観察・監視と、
性被害などの調査研究へのご協力
 - (8) 女子校 (女子大学、女子高校、女子中学校) や女子寮における
教員、親 (PTA)、生徒、友人の性的言動の観察・監視と、
性被害などの調査研究へのご協力
(代表からの全権委任事項)
8. 法律および条例の遵守

女性現実研究所 (Women's Real-Life Research Laboratory、WRLRL、ウィルール)

9. その他

1. 女現研への性に関するご相談、ご投稿、情報提供について

(1) 性に関するご相談、ご投稿、情報提供とは

女現研の活動と調査研究資料（多くはサイト上で無料提供）は、女性の皆様からの性に関する多くのご相談、ご投稿、情報提供によって支えられ、成り立っております。

ここでの「ご相談」とは、女現研本部（代表スタッフまたは幹部女性スタッフ）宛に性被害女性などから直接ご相談いただく場合と、各地の女子校などに配置している一般女性スタッフが自校で性被害生徒などを発見した場合に本部に相談する場合の、両方を指します。

また、「ご投稿」とは、多くの女性の役に立つことを前提に、女現研の資料への掲載許可を添えて、ご自身の性被害、性依存、性症状などを本部までご報告いただくことです。

「情報提供」とは、広義の「ご相談」と「ご投稿」を含みますが、その他、職場、学校、家庭、思想・宗教団体などにおける人々（特に女性）の性事情、性観念、性倫理、性行動、性被害などの情報を本部までご提供いただくことの全てを指します。

まずは、女性スタッフたちが親身に回答・調査させていただきます。公開の希望や許可を頂いたもの（下記の掲載条件の通り）はいつでもご覧いただけます。ご不明点は、随時お問い合わせ下さい。

これまでに寄せられた悩み相談、投稿文、情報は、およそ7,000件にのぼります。女性に特有の性についての相談が6,000件以上を占めています。最近では、ご自身の職場（特にブラック企業）、団体（特に宗教団体）、学校（特に女子校）において隠蔽されやすい出来事（暴力・虐待・いじめ・性問題・性に関する不正・パワハラ・セクハラなど）などについてのご相談が増えております。今後とも積極的にご相談を受け付けていきます。

掲載条件（基本的に、頂いたご相談などはサイトに一切掲載せず、女現研が厳重に管理します。サイトに掲載されている資料は、下記のもののみです。）

- ※ 女性からお送りいただいたご相談や文章などのうち、女性ご本人が載せてほしいと希望した（載せてよいと許可した）もの。お名前は伏せた上での掲載も可能であり、事実上、多くがこのパターンです。
- ※ 女性からご提供いただいた情報のうち、本部のスタッフ（ウォッチャー）が公表の公益性を確認できたもの（公務員・公的機関職員による国民女性全般への性的暴言など）。
- * 非公開希望でのご相談には、サイトに掲載せずに対応いたします。
- * 虚偽情報や、女性ご本人の精神的な症状（統合失調症や解離性障害など）から来る空

想・誹謗中傷などは、載せないか、性的な苦悩体験から来る虚偽・空想であることを記載しています。

(2) 女現研（スタッフ）への連絡先、メールなど

(ア) メールアドレス

ご相談、ご投稿、情報などは、下記のアドレスまでどうぞお送り下さい。女現研本部の代表スタッフおよび幹部女性スタッフまで届きます。

もしあなたが、家庭・学校・職場・団体などで暴力・虐待・いじめ・パワハラ・セクハラなどを受けているご本人であったり、親・夫・友人・教員・上司・同僚などに知られないように女現研に相談・投稿・情報提供を行いたい場合は、ご遠慮なくそのこともお書き下さい。

office@women.jpnr.org（女現研フロント窓口メールアドレス）

(イ) スタッフへのお手紙・ファンレターの宛先

女現研にご相談下さった女性（特に女子大学生・高校生・中学生）から、時々、私たちのウォッチャー調査活動について、直筆のお礼の手紙やファンレターを送りたいというありがたいお問い合わせをいただきます。

大変申し訳ございませんが、初回のみのご相談の場合、ファンレターは全てメールにて受け付けております。ただし、その後も継続的にご相談、ご投稿、情報をお送り下さるなど、特にご協力下さった女性には、本部の所在地（宛先）をお教えしておりますので、ファンレターや郵便物の送付をご希望の女性は、どうぞそちらまでお送りいただければ幸いです。

一般女性スタッフにつきましては、そのほとんどが現役の女子大学生・女子高校生となっているため、ファンレター（メール、手紙の両方を含む）や郵便物は代表または幹部女性スタッフが代理で受け付けております。送付をご希望の女性は、どうぞ先のアドレスやお教えした宛先までお送りいただければ幸いです。

その後、代表または幹部スタッフから一般女性スタッフご本人にお渡しするか（具体的な宛名がある場合）、スタッフで回覧させていただく（女現研宛の場合）方法を採用しております。

(ウ) 性被害物などの送り先

（ビデオ、映像、写真、画像、下着、私服、制服、水着、その他の物品）

性被害物をお送りいただく宛先は、女現研連携女子シェアハウス、その女子シェアハウス所有の性被害物保管庫、幹部女性スタッフの自宅のいずれかになります。（現在、保管スペースの都合上、一時停止しております。）

あるいは、幹部女性スタッフが直接受け取りに伺います。

一般女性スタッフは、そのほとんどが現役の女子大生・女子高生となっているため、一般女性スタッフから集められたこれらの性被害物は、幹部女性スタッフにてお預かりしております。

（工）性被害物や関連の調査・通告依頼物品、信書のご送付に関する注意

（ヤマト運輸のクロネコメール便の廃止と宅急便の拡充に伴うご送付方法の確認について）

特に初めてお送りいただく女性の皆様へのお知らせです。

2015年4月1日より、ヤマト運輸様のクロネコメール便が廃止され、代わりに宅急便が拡充されます。理由は、個人利用者を中心に、信書（書状など）を同封するといった違法な利用が見られるためとしています。

これに伴い、当研究所事務局宛に、性被害に遭っている会員女性の姿が掲載・記録された雑誌・DVD・ホームビデオなどの物品を調査・通告依頼目的で郵便（レターパック・ゆうパック・ゆうメールなど）やヤマトのメール便・DM便・宅急便でご送付いただく場合について、改めて次の方法の徹底をお願いいたします。

これまで、信書の問題以前に、被害女性の姿があからさまに掲載・記録された媒体については、研究所事務局に直接お持ち込みいただくことを推奨してきました。ただし、それが困難であれば、第三者から見て違法的な映像部分のみを簡単にイラスト化したり文章化（書状化）するなどして合法的な映像部分と共にレターパックでご送付いただくか、あるいは、イラスト化・文章化部分を定形郵便または定形外郵便として別送いただき、合法的な映像部分は信書を付けずにゆうパックやゆうメールでご送付いただくことをお願いしてきました。ヤマトのメール便の廃止と宅急便の拡充後も、基本的には同様にお持ち込みと郵便中心でお願いする次第です。

今後とも何らかの被害物品を、郵便でご送付いただく場合も、万が一ヤマトのメール便・DM便・宅急便でお送りいただく場合も、中身は合法的なもののみとしてください。たとえ被害者側であっても、被害女性の姿の掲載・映写状況が第三者から見て違法である場合、同封しないでください。

信書に当たるもの（「被害調査をお願いします」などの書状）は、郵便のゆうパック・ゆうメールやヤマトのメール便・DM便・宅急便には絶対に同封しないでください。

(3) ご相談女性の皆様の個人情報の扱い（非公表、厳重保管）と、 スタッフの氏名および職業リストの提示

ご相談、ご投稿、情報をお寄せ下さった女性の皆様のご氏名、ご職業その他の個人情報は、ご本人からの特別な公表のご要望などが無い限り、非公表とし、女現研本部にて厳重管理しております。しかし、昨今のMeToo運動などに見られるように、性被害・性依存・性症状女性自身が氏名公表を行うケースが増えており、女現研でも女性の多様なご要望に対応いたします。

代表スタッフ、幹部女性スタッフ、一般女性スタッフの個人情報の扱いについては、それぞれの資料をご覧ください。

2. ご相談、ご投稿、情報提供の方法と、女性の皆様の位置づけ

(1) ご相談、ご投稿、情報提供の方法、およびスタッフへの登用・応募方法

ご相談、ご投稿、情報などは、基本的には先のアドレスまでどうぞお送り下さい。女現研本部の代表スタッフおよび幹部女性スタッフまで届きます。

ご相談先の宛名につきましては、代表スタッフでもかまいませんし、別途資料に示したセクター、グループ、コホート、セグメント、ディヴィジョンのいずれでもかまいません。女性の性全般に関するご相談の場合は、「代表スタッフ様」や「幹部スタッフ様」でかまいませんし、ご相談分野が限定的である場合は、該当分野のセグメントリーダーやディヴィジョンリーダー宛（「～セクター～グループ～コホート～セグメントのご担当者様」など）にご相談いただいてもかまいません。

但し、性被害の証拠品（ビデオ、映像、写真、画像、下着、私服、制服、水着、その他の物品）のご送付をお考えの女性につきましては、別途ご相談に応じます。

新規に（初回のみ）ご相談などを下さった女性につきましては、もちろんスタッフとしての扱いにはなりません。但し、何度も有益な情報をお送り下さったり、一般女性スタッフの資料で挙げられていない女子校の学生・生徒であったりする場合は、一般女性スタッフとしてのご活動をお願いすることがあります。ご辞退いただくことも可能です。

一般女性スタッフには、ご相談女性自ら応募することもできます。一般女性スタッフの資料の説明をご覧になり、社会人女性・主婦スタッフと女子大学生・女子高校生スタッフのいずれのスタッフとして参加されたいかを、ご氏名および職業（所属校の名称）を添えて、メールにてお送り下さい。

幹部女性スタッフは、基本的には一般女性スタッフの中から代表スタッフにより選ばれます。単に女性の性に関する専門家を登用しているわけではなく、元々女現研（または代表個人）に有意義なご相談、ご投稿、情報をお寄せ下さった女性を優先的に登用していま

す。

次項に、女現研の代表や幹部女性スタッフのもとに特に切実な性の悩みについて相談に訪れたり駆け込んだりして下さったり、代表や幹部女性スタッフがご相談女性や一般女性スタッフたちからのご依頼・ご要請を受けたりし、回答・面談を行ったり、連携女性寮（シェアハウス）で身柄を保護したり、ご入寮いただいたりした女性たちのタイプを挙げています。

（シェアハウスの特別支援者、ご協力者、研究会講師、寮顧問、サイバーシステム室管理者は、女現研代表スタッフが兼ねています。）

（2）最近特に多くご相談、ご投稿、情報をお寄せ下さる女性のタイプ

（ア）世界保健機関（WHO）のICD、米国精神医学会（APA）のDSMなどに定義されている精神・身体症状や特殊知覚を抱えているタイプ

（連携女子シェアハウスでは個室A～Dタイプを中心に対応しております。）

これらの精神・身体症状を抱える女性は、性に関する内容が希薄である場合も多く、倫理上も男性が扱いやすいことから、現在でも最高代表の男性も対応しております。医学的な解説や精神病理学・精神疾患研究上の成果をご覧になりたい女性は、お問い合わせ下さい。

ただし、このうち、ニンフォマニア（女子色情症）、パラフィリア（性的倒錯）や、性に関する強迫儀式、チック障害・トゥレット障害に伴う汚言症・猥褻語多用癖（コプロラリア・Coprolalia）など、女性の性にまつわる症状や障害については、最高代表から移管の要請を受けたため、基本的に幹部女性スタッフに移管しております。

（イ）性被害タイプ

（先の精神・身体症状を発症しているケースが多く、連携女子シェアハウスでは個室A～Dタイプを中心に対応しております。）

（a）性暴力・レイプの被害に遭った女性（加害者が男性である場合）

- 実父・義父・祖父・兄弟によるケース
- 夫・恋人によるケース
- 職場男性（上司・同僚）によるケース
- 知人男性によるケース

●見ず知らずの男性によるケース

(b) 性暴力の被害に遭った女性 (加害者が女性・同性愛の女性である場合)

●前掲の「加害者が男性である場合」の各項目を女性に置き換えたケース

●女性 (実母・義母・祖母・姉妹・従姉妹・友人) の指示・監視下において、男性が暴行を実行したり女性も暴行に参加したりしたケース

(c) 援助交際・売春やアダルトビデオ (動画)・雑誌 (画像) などへの出演の強要の被害に遭った女性

●被害女性のみがそれらを強要されたケース

●実母・義母・祖母・姉妹・従姉妹・友人からビデオでの共演を強要されたケース

下着類・制服類・私物や排泄物の無断譲渡・販売の被害に遭った女性

●実母・義母・姉妹によって、被害女性の下着類・制服類・水着類・日記などの私物や、糞尿などの排泄物・唾液・毛髪・使用済み生理用品などが無断譲渡・販売されたケース

実母・義母・姉妹・友人が援助交際・売春をした (アダルトビデオなどに出演した) ことにまつわる種々のトラウマを抱える女性

●実母・義母・姉妹と同居する自宅で連れ込んだ男性客との援助交際・売春現場を (出演ビデオなどを) 偶然目にしたケース

●実母・義母・姉妹・友人から自宅や友人宅で連れ込んだ男性客との援助交際・売春現場を (出演ビデオなどを) 強制的に見せられたケース

●援助交際・売春場所 (ビデオなどの撮影場所) が、被害女性の自宅 (実母・姉妹が同居) や被害女性本人の部屋であったり、女性の住むアパートの部屋 (実母・義母・姉妹・友人が、高校や大学から一人暮らしをするようになった女性のアパートを援助交際・売春場所や撮影場所に無断で設定し、客や撮影者に申し出たなど) であつたりしたことで、援助交際・売春の (ビデオなどに撮影されている) 最中の実母・義母・姉妹・友人を目撃したり強制的に見せられたりしたケース

(d) 現在の社会通念上・法概念上は異常・違法と見なされる性行為への参加の強要の被害に遭った女性

●SM・乱交・スカトロロジー・野外露出など

●暴行・傷害事件や拷問と見なされる性行為の被害に遭った女性

●工具などを用いた全身への過激な性虐待

●膣内や肛門内への工具の挿入

(e) 職場や大学のサークルでの恥辱行為の強要の被害に遭った女性

- 恥辱的ポーズや脱衣・野球拳・裸踊りへの参加の強要、ヌード写真の撮影など
- 美術大学における教員・他の学生からの望まないヌードモデルの強要
- 大学教員による、被害者への講義の単位授与と被害者の身体への接触（性行為）の「交換」の要求、及びこれを拒否したことに伴う大学教員からの嫌がらせ

(f) 性行為の目視・手伝いの強要の被害に遭った女性

- 両親・親族の性行為の目視・手伝いの強要
- 姉妹とそのパートナーの性行為の目視・手伝いの強要

(g) セクハラ・パワハラ・マタハラ（マタニティ・ハラスメント）の被害に遭った女性

- 特に程度の重いもの

(ウ) 性依存・性的倒錯タイプ

ニンフォマニア（女子色情症・Nymphomania）、
パラフィリア（性的倒錯・Paraphilia）、
マスターベーション依存、オーガズム依存、セックス依存、性玩具依存、
女性間性行為依存、レズビアン、ミソジニー、ミサンドリー、
アダルトビデオ依存、性玩具依存、SM 行為依存、スカトロロジー依存、
野外露出依存、AV 出演・援助交際・売春依存、被レイプ願望、対物性愛など

（先の精神・身体症状の解説と次の特殊な性症状を併発しているケースが多く、連携女子シェアハウスでは個室 E~H タイプを中心に対応しております。）

- これらの各種の性行動（前掲の性被害で挙げた各種の性行動を含む）について、自ら積極的であったり陶醉していたりする女性
- 性被害体験のトラウマや、性被害体験中における意図せぬ性的快感の体感や性嗜好の目覚めによって、性依存・性的倒錯に陥った女性

(エ) 性症状タイプ

性器神経症、むずむず性器症候群（ReGS・RGS）、

持続性性喚起症候群 (PSAS・PGAD)、陰核過敏症 (クリトリス痙攣)、
ヴルヴォディニア (Vulvodinia)、ワギニズムス (膣痙・膣痙攣・Vaginismus)、
クリトロディニア (Clitorodinia)、肛門過敏症 (肛門痙攣)、
乳頭・乳輪・乳房 (副乳頭・副乳輪・副乳房) 過敏、
汚言症・猥褻語多用癖・猥語性愛 (コプロラリア・Coprolalia)、
異食症 (ピカ・ピサ・Pica) など

(連携女子シェアハウスでは個室 E~H タイプを中心に対応しております。)

- マスターベーションなどによらず不随意的にオーガズムに達する症状を抱える女性
むずむず性器症候群 (ReGS・RGS)、持続性性喚起症候群 (PSAS・PGAD)、陰核過敏症 (クリトリス痙攣)、ヴルヴォディニア (Vulvodinia)、ワギニズムス (膣痙・膣痙攣・Vaginismus)、クリトロディニア (Clitorodinia)、肛門痙攣などの症状を抱える女性
- そのほか、特に女性器疾患・身体疾患によらず心理的な問題または外傷の後遺症により、不随意的に女性器や女性器周辺部位などに通常でないオーガズム・痙攣・違和感・疼痛などが発生する女性
副乳 (副乳頭 (Polythelia)・副乳房 (Polymastia)) を持つ女性、および主乳・副乳の乳頭・乳輪・乳房過敏の女性
- 通常の一対の主乳 (乳頭・乳輪・乳房) 以外に乳頭・乳輪・乳房を持つ女性、および主乳・副乳の乳頭・乳輪・乳房が過敏であるか、マスターベーションなどによらずそれらへの性的刺激のみで性器がオーガズムに達する症状を抱える女性

(オ) 性ボランティアの女性

手足の不自由な男性・女性の性行動のお手伝いを無償で自主的に行う場合

(先の精神・身体症状の解説と特殊な性症状を併発しているケースが多く、連携女子シェアハウスでは個室 E~H タイプを中心に対応しております。)

- あくまでも自分の力で性行動ができない男性・女性のために、無償で自主的にお手伝いしている女性
(障害者から対価を得て職業として性行為をおこなっている性風俗業就業女性など、日本の現行法ではグレーゾーンとなる活動をおこなっている女性は除く。)

(3) スタッフの組織構成

女現研のスタッフは、代表スタッフ、幹部女性スタッフ、一般女性スタッフから成って

います。それぞれの資料をご覧ください。

3. ご相談女性の皆様へのお願い 1（女現研の執筆・編集中の資料のご確認）

女現研のほぼ全ての資料は、代表スタッフが執筆し、幹部女性スタッフが編集しております。但し、資料中に掲載・引用しておりますご相談、ご投稿、情報などは、これらをお寄せ下さった女性ご本人に代表または幹部女性スタッフが許可を得たものと、女性ご本人から代表または幹部女性スタッフあてに掲載希望を頂いたものから成ります。

各資料に掲載・引用したご相談などについて、これらを提供して下さった各女性に確認を求める場合があります。一般女性スタッフを介したご相談であった場合も同様です。各女性は、当該資料に意見することができます。

4. ご相談女性の皆様へのお願い 2（女現研本部への意見）

女現研本部（代表スタッフおよび幹部女性スタッフ）にいつでも意見することができます。

5. ご相談女性の皆様へのお願い 3（女現研の分類との整合性の確認）

代表スタッフまたは幹部女性スタッフによる女現研の資料の分類位置について、ご自身の通う女子校などの現状を踏まえて、意見することができます。

6. ご相談女性の皆様へのお願い 4（女現研の提供・保管資料のご確認）

(1) ウェブサイト上でのご確認・ご利用

女現研の文章資料の多くと文章以外の資料の一部は、ウェブサイト上で無料にて提供しています。これらは、代表および幹部女性スタッフが管理しています。ご相談女性は、サイトを直接ご利用下さったり、担当女子校の一般女性スタッフを通じて閲覧することができます。

(2) 一部の女子寮・女子シェアハウス、女子大学・高校・中学校など 女性施設・女子校における保管資料のスタッフとのご確認

これらの女性施設では、前述の資料に加え、文章以外の資料の多くをご覧ください。これらの資料には、ご相談女性の皆様からお預かりした性被害の証拠品（ビデオ、映像、

写真、画像、音声や、下着、私服、制服、水着、その他の物品）が含まれます。

これらの資料は基本的に、代表および幹部女性スタッフが連携女子シェアハウスの保管庫で管理していますが、調査の進展状況や性被害女性の希望により、当該女性が居住する寮・シェアハウスや女子校で性被害物の状態を目視・確認できるよう、貸出・返却しているものです。

ご相談女性が幹部女性スタッフに直接ご相談下さったのではなく、一般女性スタッフを介してご相談下さっている場合、一般女性スタッフにもなるべくお立ち会いいただいております。

これらの資料のほとんどは、大多数の性被害女性の要望により、保健所や産婦人科に提供されることはあっても、警察などの捜査機関に移管されることはほとんどないことが特徴です。

(3) ご自身の性に関するご相談、ご投稿、提供情報の収録の要望

女現研に掲載・引用しておりますご相談などは、これらをお寄せ下さった女性ご本人に代表または幹部女性スタッフが許可を得たものと、女性ご本人から代表または幹部女性スタッフあてに掲載希望を頂いたものから成ります。

ご自身がどうしても収録してほしいご相談、ご投稿や、有益な情報については、代表または幹部女性スタッフからの許可要請を待たずに、皆様のほうから掲載のご要望を下さってかまいません。但し、ご自身の個人情報の扱いには十分ご注意ください。代表または幹部女性スタッフからも、ご相談女性に直接確認いたします。

7. ご相談女性の皆様へのお願い5（代表スタッフまたは幹部女性スタッフへの情報提供）

(1) ご相談、ご投稿、提供情報の内容のご確認

女現研本部では、女性たちからのご相談、ご投稿、情報を受け付け、個別に回答させていただいております。全国の社会人女性・主婦（その他シングルマザー・無職など全ての女性を含む）や女子学生・女子生徒（女子大学生から女子中学生までを含む）から寄せられたご相談、ご投稿、情報などを直接処理する役割を担っています。

これらのご相談などの資料への掲載・引用や、性被害などの調査研究をさせていただくにあたり、ご相談女性に内容をご確認いただく場合があります。

但し、女子小学生以下の児童などからのご相談（親からの虐待やアダルトビデオ出演の強要など）については、直接の対応行動はあまり行わず、ほぼ全面的に自治体、保健所、警察に連絡し、対応を委ねています。

(2) 性被害、性依存、性症状などの調査研究へのご協力

本部がご相談女性の性被害、性依存、性症状などの調査研究を行うにあたり、情報提供などのご協力をお願いすることがあります。

性被害現場などへのご同行については、ご相談女性の意志にお任せしており、同行に苦痛を感じる場合や、トラウマやフラッシュバックの症状をお持ちの場合などは、お断りいただいてもかまいません。

(3) 自治体、保健所、児童相談所、警察、学校などへの通報へのご協力

本部による性被害調査の結果、加害者側の犯罪性（とりわけ刑法犯）や条例違反が明らかであるか、認められると判断される場合、自治体・警察・学校などへの通報を行います。但し、被害を知られたくないなどのご要望を頂いた場合は、もちろん通報いたしません。

ただし、刑法犯罪や特別刑法犯罪である場合のみ通報し、民事事案である場合や、加害・被害関係が曖昧である場合は、私たちの活動を知る弁護士やNPO法人、人権団体に連絡するにとどめ、その先はこれらの専門家にお任せしています。例えば、女性自らが積極的な了承の上で過激なアダルトビデオに出演したり宗教に入信したりしたあとで、性被害や洗脳・マインドコントロールを受けたと主張する場合は、ビデオメーカーや宗教団体側に犯罪性が認められないか乏しいため、通報するとは限りません。

(4) 女子大学、女子高校、女子中学校、女子寮、女性温泉・スパ施設などへの潜入調査へのご協力

（代表からの全権委任事項）

男性である最高代表スタッフ（親族男性など関係者以外の男性）が立ち入ることのできない場所をめぐる性のご相談（女子校、女子寮、女性施設における性被害など）において、実際に立ち入りが必要な場合、まずは代表女性スタッフ・幹部女性スタッフたちが立ち入っています。

この調査は基本的に、男性である最高代表からの代表・幹部女性スタッフ・一般女性スタッフへの全権委任事項です。但し、代表スタッフまたは一般男性の立ち入りを当該女子校や女子寮が許可した場合は、最高代表も立ち入っております。

これらの女性施設について、ご相談女性に情報提供などのご協力をお願いすることがあります。但し、これらの場所が性被害現場である場合もあるため、ご同行については、ご相談女性の意志にお任せしており、同行に苦痛を感じる場合や、トラウマやフラッシュバックの症状をお持ちの場合などは、お断りいただいてもかまいません。

(5) 思想・宗教・ユートピア団体への潜入調査へのご協力

思想・宗教・ユートピア団体などの女性たちの性事情、性生活、性意識の調査研究にあたり、ご相談女性に情報提供などのご協力をお願いすることがあります。但し、これらの場所が性被害現場である場合もあるため、ご同行については、ご相談女性の意志にお任せしており、同行に苦痛を感じる場合や、トラウマやフラッシュバックの症状をお持ちの場合などは、お断りいただいてもかまいません。

(6) 職場、地域社会、町内会などにおける性被害などの調査研究へのご協力

調査研究は、主に社会人女性・主婦スタッフから頂いた性被害女性の情報をもとに、代表・幹部スタッフが行っておりますが、性被害女性ご本人にもご協力いただくことがあります。但し、性被害現場などへのご同行については、性被害女性の意志にお任せしており、同行に苦痛を感じる場合や、トラウマやフラッシュバックの症状をお持ちの場合などは、お断りいただいてもかまいません。

(7) 男女共学校における教員、親 (PTA)、生徒、友人の性的言動の観察・監視と、性被害などの調査研究へのご協力

調査研究は、主に女子大学生・女子高校生スタッフから頂いた性被害学生・生徒の情報をもとに、代表・幹部スタッフが行っておりますが、性被害学生・生徒ご本人にもご協力いただくことがあります。但し、性被害現場などへのご同行については、性被害学生・生徒の意志にお任せしており、同行に苦痛を感じる場合や、トラウマやフラッシュバックの症状をお持ちの場合などは、お断りいただいてもかまいません。

**(8) 女子校 (女子大学、女子高校、女子中学校) や女子寮における教員、親 (PTA)、生徒、友人の性的言動の観察・監視と、性被害などの調査研究へのご協力
(代表からの全権委任事項)**

こちらの調査研究も、主に女子大学生・女子高校生スタッフから頂いた性被害学生・生徒の情報をもとに、代表・幹部スタッフが行っておりますが、性被害学生・生徒ご本人にもご協力いただくことがあります。但し、性被害現場などへのご同行については、性被害学生・生徒の意志にお任せしており、同行に苦痛を感じる場合や、トラウマやフラッシュバックの症状をお持ちの場合などは、お断りいただいてもかまいません。

8. 法律および条例の遵守

ご相談、ご投稿、情報をお寄せ下さる女性の皆様にも、代表や幹部女性スタッフ、一般女性スタッフと同様、女現研の活動において特に参照すべき刑法、特別刑法、民法、著作権法、個人情報保護方針及び個人情報の保護に関する法律などの法律をはじめ、あらゆる法律および各自治体の条例を遵守して活動を行っていただくようお願いしております。

但し、ご相談などをお寄せいただく際に、これらの法律や条例、裁判の判例などを理解・把握している必要は全くありません。ごく常識的に、性被害や性的嫌がらせと思われる事態にご自身やご友人などが遭遇したら、本部までご報告いただいて差し支えありません。

その後の対応は本部にて行います。性加害者などの法律・条例違反者についての警察や自治体などへの通報も、本部から行っております。

9. その他

参考文献

電子政府の総合窓口

<http://www.e-gov.go.jp/>

総務省 犯罪白書

http://www.moj.go.jp/housouken/houso_hakusho2.html